### 助成·寄付寄贈報告

- ◆福島県ふるさとふくしま交流・相談支援事業補助金 (H29 年度 OHANA 学習支援等の活動に対して)
- ◆静岡県社会福祉協議会ふれあい基金助成金 (H30年2月 OHANA 交流会に対して)

厚く御礼を申し上げます

### 研修会・講演会のご案内

- ◆ 定期研修会 参加費: Be サポ会員無料、非会員 1,000 円 参加資格: スクールカウンセラー、支援員、教員など、守秘義務を課せられた専門職の方が参加できます。初めて参加 される方は Be サポートまでご連絡ください。
- ①「子どものそだち研修会」H29 年 11/22、1/24 18:30~21:00 奇数月水曜日開催 場所:プラサヴェルデ 子どもの育ちを支援する専門職による事例検討勉強会です。支援者ネットワークとしても生かされます。
- ②「東部アセスメント研究会」H29年10/18、12/20、2/21 18:30~21:00 偶数月水曜日開催場所:プラサヴェルデ 心理検査の事例検討を中心とした研究会です。参加者同士で意見交換をしあい、学びを深めます。



### Be サポート業務一覧

### 相談・カウンセリング事業

カウンセリング、プレイセラピー、各種心理検査

### 医療・保健・福祉・教育等 地域機関への協力

静岡県ひきこもり支援センター居場所設置運営事業委託 伊豆市・伊豆の国市・清水町 母子保健事業 (乳幼児健診・発達相談・療育教室) 函南町・清水町・伊豆市教育委員会 (就学支援・特別支援教育・巡回相談) 伊東市・富士市 市民メンタルヘルス相談 県立高校スクールカウンセラー・学校支援心理アドバイザー 県および市町主催ゲートキーパー養成事業

> NPO 法人静岡犯罪被害者支援センター 社会的養護関係施設第三者評価事業

### 被災者支援事業

東日本大震災被災者支援活動「OHANA」

### 企業・事業所への支援事業

メンタルヘルスカウンセリング 企業研修会への講師派遣

### 研修・啓発事業

専門職対象の定期研修会開催 一般市民対象の講演会開催

# 児童発達支援事業

障害児・者総合サポートセンター みつばち 児童発達支援「あんず」・放課後等デイサービス「かりん」 保育所等訪問支援 指定計画相談支援・指定障害児相談支援

### 平成29年6月~9月 依頼協力事業

- ◆ 静岡県教育委員会社会教育課主催 不登校・ひきこもり 合同相談会 8月26日(土)於:三島市民生涯学習センター 9月16日(土)於:富士市教育プラザ
- ◆ 伊東市健康推進課主催 うつ・ゲートキーパー養成研修 講師 9月5日、12日 於:伊東市観光会館

# 

NPO 法人とは利益を目的とせず、社会や地域のニーズを追求し応える活動を行う団体です。臨床心理士を中心とした有志で Be サポートを設立しました。専門的な視点から地域のさまざまなこころの問題に取り組んでいます。現在、正会員 57名、賛助会員 9名、学生会員 1名(2017.9 時点)で活動しております。私たちの活動を応援してくださる会員の方を募集しております。会員の方へは会報誌の送付、研修会や講演会の参加費用免除が適用されます。また地域で働く援助職の方には、ネットワークづくりとしても活用していただいております。会員登録を希望される方は Be サポート事務所までご連絡ください。

### 特定非営利活動法人 臨床心理オフィス Be サポート

# クローバー通信

2017年10月1日発行 Vol.15



〒4100056 沼津市高島町 29·11 盟萌ビル 201 Tel/Fax 055·925·1701 Mail be-sapo@mail.wbs.ne.jp HP http://be2011.jimdo.com/ 発行責任者 皆川行寛

## 里親制度について考える

# 沼津里親会会長 高井 篤 6



沼津市で里親をしています。いままで家族のメンバーとして5人の子どもと生活を一緒にしてきました。いまは中学生の子どもがいます。乳児院から我が家へきました。とても大切な子です。私たちの身近には、様々な事情で家庭を離れて生活をしなければならない子どもたちが数多くいます。

今年4月に児童福祉法の改正があり、社会的養育のあり方が大きく変わりました。 家庭(里親)養育を広めようという内容になっています。日本においては里親数(里親への委託)が極端に少ないことを、国連の権利委員会から勧告を受けていました。 また国内においては家庭の崩壊など子どもの貧困の拡がりや、虐待を受けた子どもの 急激な増加があり、その対応が求められていました。8月には「新しい社会的養育ビジョン」が厚生労働省より示され、里親への委託率を先進国並みに引き上げるよう提 案されました。

里親には「養育里親」と「養子縁組里親」があり、「養育里親」は児童相談所から子どもが委託されます。期間は短期から長期と様々です。また週末など施設の子どもを預かる週末里親や緊急一時保護の受け入れ先にもなっています。「養子縁組里親」は「特別養子縁組」を前提とした里親です。申し込みは市町の子ども相談係、あるいは東部児童相談所になります。里親になるには児童相談所による家庭状況の調査があり、県知事によって認定されます。一定の事前研修を受け登録されると、その里親家庭に合った子どもが紹介されます。その後子どもとの交流を経て里親への委託となります。委託されると生活費等が支払われ、養育に関しては児童相談所や里親支援の関係機関によるサポートがあります。

普通に生活できない子どもをみんなで育てようということが社会的養育です。里親養育で避けたいことは、周りとの関わりができずに孤立することです。養育に悩んだときに相談するところがあること、支援を受けられることが必要です。いまは里親・子ども・実親への支援体制は充分とはいえませんが、里親家庭は子どもが安心して育ち、地域社会のなかで普通に生活できるところです。ひとりでも多くの人が里親になってくれることを願っています。

(高井篤氏は、児童指導員として児童養護施設での勤務経験が長く、静岡県里親連合会会長なども歴任されています。現在は、 当法人のみつばちで勤務して頂いています。)

# Be サポ ギャラリー

ひきこもり居場所事業「なごみ」で、折り紙のくす玉に挑戦しました。 1 枚の折り紙で花びらを作り、花びら 5 個を組み合わせてひとつの花を作ります。くす玉にするには 12 個の花が必要で、利用者の方とスタッフとで協力して 60 個の花びらを作りました。折り方、糊の貼り方に性格が出て、笑ったり、役割分担し合ったり。隣り合う花がすべて違う色の花にするにはどうしたらいいか、知恵を出し合ったり。出来上がった時には、思わず拍手!!でした。



最近増えているのが、発達障害のご相談や心理検査依頼です。「じっとしていられない」「何度言っても同じ間違いをする」「コミュニケーションが苦手でトラブルが多い」「急な出来事に対応できない」などの困り感を抱え、学校、病院、市町相談窓口からのご紹介で来談される方、テレビやインターネットの情報からご自身で発達障害を心配して来談する方もいらっしゃいます。特に夏休みには、お子さんの発達検査のご依頼を多く頂きました。

心理検査には、能力の得意不得意をみる発達検査と、情緒 発達や認知特性、人間関係の取り方などをみる性格検査とが あります。その方の特性をより正確にアセスメントできるよ う選択して実施し、検査結果を丁寧にご説明しています。カ ウンセリングでは、どういうことがうまくいかないのかをじ っくりとうかがい、どういう工夫・対処をしたら適応的にや っていけるか、その方に合った方法を一緒に考えています。 よりお役に立つフィードバック、アドバイスができるよ う、私たちスタッフも、研修会に参加したりケース検討会な



どを重ね日々研鑽しています。

### ゲートキーパー養成研修

悩んでいる人に寄り添い関わる「ゲートキーパー」の養成は、自殺防止対策として国が推進している取り組みです。今回は、伊東市から講師を依頼され、2回シリーズでお話しさせていただきました。

養成講座では、悩んでいる方やうつ状態の方への声の掛け 方、お話の聴き方、必要な支援へのつなぎ方、などについて、 ビデオ学習や実習などを交え、気を付けるポイントを具体的 にお伝えしました。

静岡県東部地域、特に伊豆半島は、県内でも自殺で亡くなる方が多い地域です。高齢者の単身世帯や県外から移住される方が多く、地域から孤立しがちなことが原因の一つかもしれません。家族の中で、地域のなかで、そして職場や学校で、日々の何気ない挨拶を大切にし、お互いに関心を持つこと、思いやることが一番大切なことだと感じています。

### 障害児・者総合サポートセンター みつばちの「夏まつり」

8月23日(水)、24日(木)の2日間、今年で3回目となる、みつばちの夏まつりを開催しました。まずは、昨年の子どもたちの様子を踏まえて、あんず(就学前児)とかりん(小学生)が一緒に参加できる「○×ゲーム」(懐かしのウルトラクイズのような感じ)を外で行いました。サービス問題もありましたが、そこはさすが、かりんのお兄さん・お姉さんです。たくさんの子どもが全問正解し、賞品のお菓子をゲットしていました。

その後で、かりん・あんずでお昼も一緒に食べました。 「焼きそばください。」「おにぎりください。」とチケット交 換の経験もしながら、シートの上に皆で座り、ワイワイと たくさん食べていました。



ゲームは、午前があんず、午後がかりんと、分かれて行いました。昨年よりも本格的な輪投げにはまった子、ヨーヨー釣りで一度に2個釣れてびっくりする子。スーパーボールすくいでは、スタッフも参戦し、技をみせて大人取りし、それを子どもたちは目を輝かせて見ていました。その後で、技を真似て、たくさん取れて大喜びしている子もいました。他に、ストラックアウト、プラバン製作、そして最後は皆で食べ物ビンゴ。ビンゴであてくじを引く順番が決まります。くじを引いて景品をもらい、うれしい顔・微妙な顔様々でしたが、それも良い経験です。

閉会式では、ゲームの成績の良かった子どもの表彰があ り、嬉しそうな顔を見ることもできました。子供もスタッ フも、みんなの笑顔がいっぱいの楽しい夏祭りでした。

# 活動報告

### 県ひきこもり支援センター居場所設置運営事業「なごみ」

「なごみ」は、当法人事務所3階の一般居住部屋を居場所としています。市の中心部にもかかわらず閑静で、利用者はもちろん、スタッフにとってものんびりと落ち着く場所です。スタッフは、精神科デイケアでの臨床経験のある臨床心理士や看護師、不登校生徒の対応経験がある教員です。利用者のペースで、利用者の変化を感じ取りながら、次の目標を設定できるよう寄り添いを続けています。





「なごみ」を自宅以外の居場所として意識づけてもらうため、利用時間の過ごし方は各利用者の希望にあわせて決めています。スタッフとの会話、相談ごと、ボードゲーム、工作やペーパークラフトなどを通じて、利用者の表情が少しずつ明るくなってきました。利用当初は言葉を発することもとまどう方が、少しずつ関わりを続ける中で、目を見て話し、笑顔を見せ、時には難しい折り紙クラフトでスタッフを手伝う場面も見られるようになりました。また、次のステップにいっしょに見学に行ったりもしました。自己肯定感が上がる場に一緒に居られることは、何よりも嬉しいことです。

今後も、静岡県ひきこもり支援センター、など、関係諸機 関と連携を取りながら活動していきます。

### 東日本大震災被災者支援事業 OHANA

被災体験を持つお子さんのための「OHANA 学習支援」では、教育現場での指導経験のあるスタッフが子どもたちの学習支援を行っています。学習面のわからないところをフォローするとともに、学校のことや興味のあることを子どもたちが気軽に話せる雰囲気づくりを心がけています。

夏休みには、中学生3名が参加しました。午後3時間という中学生には少し長い時間ではありますが、クーラーがある和室で快適な環境の中、初日は簡単な英語でのQ&Aによる自己紹介からスタートしました。利用生徒さんは支援スタッフと初対面でしたが、積極的に英語で質問に答えてくれ、それぞれのきらりと光る個性と人柄が感じられました。夏休みの宿題を中心に、支援スタッフのアドバイスを活かしながら、生徒さん自身がその日の学習目標と配分を決め、主体的に学習を行うことでやる気につながったように思います。休憩時間には百人一首や都道府県かるた等を行い、楽しく学習しながら交流を深めることができました

子どもたちの希望もあり、9 月以降も毎週土曜日に継続 して行っています。さまざまな学習に関する質問に積極的 にお答えしながら、

生き生きと学べる場を 生徒さんとともに作っ ていきたいと思います。





### みなさんのお仕事 教えてください!第8回「 相談計画支援事業 」について

障害のある人が安心して地域で暮らし、地域の一員として一緒に生活できる社会を目指すため、平成25年に障害者総合支援法が制定されました。相談支援従事者は、当事者の要望や置かれている環境などを加味して、総合的な支援方針を打ち出します。そして、当事者の要望に沿って的確で必要なサービスの組み合わせを検討して、本人に無理がないような支援計画を立てます。これを「案」として居住する市町に提出し、市町は提出されたサービス等利用計画を勘案し、サービスの支給決定を行います。また、サービス等利用計画が適切であるかを検証するためにモニタリングを行います。対象者に合わせて、1か月ごと・3か月ごと・6か月ごとなど期間が決められています。

当法人では、主に未就学児や児童、特別支援学校卒業後の未成年者の相談が多いのですが、精神障害などの成人の相談も受けています。まだ携わったばかりなので、不慣れで知らない事があったり、計画通りにいかない事もあります。また、当事者それぞれの家庭状況や生活環境など全く同じではないので、毎回が初心の気持ちで相談を受け、毎回毎回悪戦苦闘して計画を立てております。